

公開講演: コンテンポラリーダンスの創作について

日時: 2017年1月30日(月) 10:40~12:10

会場: お茶の水女子大学 本館 306 教室 **聴講無料 (事前申し込み不要)**



「作品を創る初期の状況を一口に言うと『ゼリー状』なんです。一回一回、公演ごとに何かをしっかりと積み重ねているのではなく、公演が終わるとゼロとは言わないまでも形のない、ベロっとしたゼリー状に一度戻り、そこからまた新しい創作の核となるものを探し、もう一度固形物になるまで分裂・増殖していくような。少し前の取材でも、創作の過程についての質問を受けて、「カビが生えるように創っている」とお答えしたんですが(笑)、どうしても生き物っぽい感覚で考えてしまおうんですね、私は」

プロジェクト大山 HP 「Interview」(2013年6月6日)より引用
<http://www.projectohyama.net/interview.html>

講師プロフィール:

古家優里 FURUIE Yuri

(ダンサー・振付家・演出家)

熊本バレエ研究所で学ぶ。お茶の水女子大学舞踊教育学コース卒業。大学の同級生と立ち上げたダンスグループ”プロジェクト大山”主宰。2009年横浜ダンスコレクション R にて「審査員賞」、2010年トヨタコレオグラフィアワードにて「次代を担う振付家賞」を受賞。公演活動の他、NHK、Eテレ「みいつけた!」への振付出演、長塚圭史演出『ガラスの動物園』(2012年)振付出演、ケラリーノ・サンドロヴィッチ作演出・ナイロン 100℃『デカメロン 21~或いは、男性の好きなスポーツ外伝~』(2013年)振付などがある。現在2歳男児の子育て中。



* LA 科目「舞踊における色・音・香」の履修者は、本講演に出席しレポートを提出することにより授業の出席として認められます。

問い合わせ先: お茶の水女子大学文教育学部芸術・表現行動学科舞踊教育学コース准教授

中村美奈子 nakamura.minako@ocha.ac.jp

